

令和3年3月1日

保護者の皆様

亘理町立亘理小学校
校長 奥山 浩二

令和2年度「よりよい亘理小を目指すアンケート調査」の結果について

11月に実施しました「よりよい亘理小を目指すアンケート」の結果について以下のとおりご報告いたします。ご多用の中、ご協力いただきありがとうございました。

今後、今回のアンケート結果を踏まえながら、児童、保護者、教職員それぞれの自己評価がさらに高まるように努めてまいります。保護者の皆様には変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今年度は、学校と家庭がより連携して子供たちを見守り育てていこうという観点でアンケート内容の見直しを行いました。そのため、これまでの報告様式とは異なっておりますのでご了承ください。

【1 上位項目・下位項目の結果からの考察】 ※得点は100点満点に換算しています。

(1) 上位2項目

位	児 童		保護者		教職員	
1	No.8 衛生面の習慣	89 点	No.2 学習習慣の定着 No.4 場に応じた生活行動	79 点 79 点	No.8 衛生面の習慣	70 点
2	No.10 安全・防災教育の充実	84 点			No.10 安全・防災教育の充実	68 点

(2) 下位2項目

位	児 童		保護者		教職員	
1	No.2 学習習慣の定着	70 点	No.6 志教育の推進	57 点	No.6 志教育の推進	48 点
2	No.1 学習内容の定着	74 点	No.9 健康面の習慣 No.10 安全・防災教育の充実	63 点 63 点	No.9 健康面の習慣	56 点

(3) 考察

○No.6「志教育の推進」について

保護者と教職員ともに下位1位で、児童自身の評価も決して高くはありませんでした。児童が将来の夢をもち、目標を掲げて勉強や運動に取り組むことが十分にできていない状況と言えそうです。身近にいる大人である保護者や教職員が児童一人一人の夢や努力を温かく見守り励ます姿勢を大事にしていきたいと思います。

○No.9「健康面の習慣」について

保護者と教職員ともに下位2位で、児童の自己評価は中位でした。テレビやゲーム、スマホなどのルールを守っているかどうかを問う項目で、大人は危機感をもって注視していると言えそうです。使い過ぎが脳や心の成長に及ぼす悪影響や犯罪に巻き込まれる可能性など、児童に自分自身の問題と捉えさせながら望ましい使い方を身に付けさせていかなければならないと考えます。

○No.10「安全・防災教育の充実」について

児童と教職員の上位2項目が全く同じであったのに対し、保護者はそのNo.10「安全・防災教育の推進」が下位項目に入っていました。理由としては、No.10の観点が保護者自身であるため、自分に厳しく評価した面もあったのではないかと考えられます。現在、今回のアンケートでいただいた意見に沿って、登下校時に不測の事態に遭った場合の避難行動について再検討しております。今後、ご家庭でも親子で話し合ってお決めいただくことも出てくるかと思われますので、その際はご協力をお願いいたします。

【2 お子さんの認めてあげたい姿・我が家の重点項目】(各上位5項目)

位	お子さんの認めてあげたい姿	総数 660	我が家の重点項目	総数 635
1	家庭学習を進んで行う(C-3)	100人	相手の気持ちを考えた言葉がけ(B-5)	98人
2	早寝・早起き・朝ご飯などの健康管理(C-1)	89人	身の回りの整理整頓(C-2)	91人
3	お手伝い(C-5)	82人	早寝・早起き・朝ご飯などの健康管理(C-1)	86人
4	相手の気持ちを考えた言葉がけ(B-5)	54人	自分の考えをきちんと述べる(B-3)	70人
5	元気のよい挨拶(A-4)	52人	自発的な挨拶(A-3)	51人

○初めての試みとしてご家庭で考えていただきました。児童の頑張りやご家族の想いが込められた数値結果になっております。ぜひ、ご家庭それぞれの取組を継続なさっていただきたいと思います。

【3 保護者の皆様から寄せられたご意見・ご要望に対する回答・改善策の一部】

(1) 歯磨きを再開してほしい。

- ・学校でもこれまで何度か検討してまいりましたが、本校の環境条件では、やはり「密になる」「飛沫が飛ぶ」「やり方を工夫しても効果が薄い」「まだ、うがいさえできていない」などの理由から再開は当面難しいと考えています。

(2) アレルギーなしの児童にも給食の原材料の開示をしてほしい。

- ・給食センターに問い合わせたところ、①医者から開示必要性の証明があつて開示している。②基本的には市場で出回っているものは安全性が確認されたものであると認識している。③資料は相当な分量があり多数の方に配るには適していない。との回答をいただきました。したがって、現状では開示は困難となりますのでご了承ください。

(3) おしぼりを濡らさずに持っていきたい。

- ・改めて検討した結果、①今後、おしぼり持参は各家庭の任意とする。②持参する場合、濡らす濡らさないも任意とする③学校で濡らすことはしない(持参する児童の多くが十分に絞れない1年生と想定できるため)といたします。

(4) 登下校中に大きな地震が発生したときの対応を考えてほしい。

- ・各家庭によって個別の判断条件が異なるため学校で一律には決められないと考えます。児童調査票に新たに記入欄を設けて各ご家庭での約束事を明確にし、児童、保護者、学校が共有するなどの対応を行います。詳細は後日改めてお知らせしますので、ご協力をお願いいたします。

(5) 登下校時は名札を付けずに学校で保管をしてほしい。

- ・名札を着けての登下校にはデメリットも発生することは承知しておりますが、本校では当面メリット重視の立場を取りたいと考えています。今後も引き続き要検討課題といたします。

(6) 学校行事のオンライン配信をしてほしい。

- ・検討した結果、現時点では困難と考えます。理由としては、①リアルタイムでは映像に責任が持てない②編集しての配信では人的にも時間的にも負担が大きい③配信トラブルが発生したときに即対応できる技術も人手もないといった事があげられます。

三者結果(点)				児童	保護者	教職員	児	保	教
項目				No					
考える子供	学びづくり	学習内容の定着	1	74	72	61	76	75	62
		学習習慣の定着	2	70	79	61			
		家庭学習の定着	3	82	74	66			
やさしい子供	心・自信・仲間づくり	場に応じた生活行動	4	77	79	66	77	69	58
		他者との正しい関わり	5	79	72	61			
		志教育の推進	6	77	57	48			
たくましい子供	体づくり	体力の向上・体を動かす習慣	7	79	72	62	82	71	63
		衛生面の習慣	8	89	78	70			
		健康面の習慣	9	78	63	56			
防災教育		安全・防災教育の充実	10	84	63	68	84	63	68
学校環境作り		保護者と地域との連携	11			68			68
特別支援教育の充実		障害に即した指導法の工夫	12			67			67

三者結果(人)			児童				集計 総数	保護者				集計 総数	教職員				集計 総数	
項目			クラス															
			NO	4	3	2	1		4	3	2	1		4	3	2	1	
考える 子供	学 び づ く り	学習内容 の定着	1	214	352	53	9	628	165	378	66	3	612	1	22	6	0	29
		学習習慣 の定着	2	213	291	109	16	629	299	234	60	8	601	2	21	5	1	29
		家庭学習 の定着	3	376	196	53	14	639	238	276	90	6	610	2	24	3	0	29
やさしい 子供	心・自信・仲間 づくり	場に応じた 生活行動	4	281	285	61	12	639	238	357	19	0	614	0	28	1	0	29
		他者との 正しい関わり	5	312	264	64	8	648	152	412	48	1	613	0	24	5	0	29
		志教育の推進	6	322	208	89	19	638	103	261	229	22	615	0	13	16	0	29
たくましい 子供	体づくり	体力の向上・ 体を動かす習慣	7	374	147	99	20	640	255	220	124	15	614	3	19	7	0	29
		衛生面の習慣	8	460	153	23	3	639	280	269	62	3	614	3	26	0	0	29
		健康面の習慣	9	339	202	75	23	639	130	305	150	28	613	1	18	10	0	29
防災教育		安全・防災 教育の充実	10	389	202	41	7	639	117	326	158	10	611	2	26	1	0	29
学校環境 作り		保護者と地域 との連携	11											1	28	0	0	29
特別支援教 育の充実		障害に即した 指導法の工夫	12											2	25	2	0	29

↑ 回答の各選択肢を選んだ人数(表)

4…そう思う 3…だいたいそう思う 2…あまりそう思わない 1…まったくそう思わない

← 回答結果を得点化したもの(表)

項目			N0	児童（学校で）	保護者（家庭で）	教師（指導面で）
考える子供	学びづくり	学習内容の定着	1	学校で勉強し、漢字や文章を読んだり書いたり、計算をしたりすることが、正しくできるようになった。	お子さんは、漢字や文章の読み書き、四則計算など、学校で習う基礎的な学力が定着している。	漢字や文章の読み書き、四則計算などの基礎的な学習の力を定着させることができた。
		学習習慣の定着	2	授業中にしっかり話を聞いたり、ノートを丁寧に書いたりすることができた。	お子さんは、学習用具を自分でそろえることができている。	チャイム着席や学習用具の準備、静かに話を聞きしっかりノートをとる姿勢などを、習慣化することができた。
		家庭学習の定着	3	音読やプリント、漢字練習などの宿題や自主学習を、家庭でしっかりやることができた。	お子さんは、家庭で音読やプリント、漢字練習などの宿題や自主学習に進んで取り組んでいる。	「10分×学年数」を目安に宿題の内容や量を調整し、取組の確認や励ましを適宜行い、家庭学習を定着させることができた。
やさしい子供	心・自信・仲間づくり	場に応じた生活行動	4	先生や友達に「進んで目を見て聞こえる声で」あいさつしたり、いろいろな生活のルールを守って行動したりすることができた。	お子さんに、その場にあった正しい挨拶を進んで行ったり、様々な生活のルールを守って行動したりするよう指導している。	その場にあった正しい挨拶や、様々な生活のルールを守って行動する態度を身に付けさせることができた。
		他者との正しい関わり	5	思いやりのある言葉や丁寧な言葉を使って、友達と一緒に仲よく遊ぶことができた。	お子さんは、思いやりのある言葉や丁寧な言葉を使って、友達と仲よく遊ぶことができている。	思いやりのある言葉や丁寧な言葉を使って、友達と仲よく遊ぶなど、望ましい関わり方をさせることができた。
		志教育の推進	6	将来の夢を持ち、目標を持って勉強や運動をすることができた。	お子さんは、将来の夢を持ち、目標を持って勉強や運動に取り組むことができている。	将来の夢を持たせ、目標を持って勉強や運動に取り組む姿勢を育むことができた。
たくましい子供	体づくり	体力の向上・体を動かす習慣	7	休み時間に進んで外に出て元気に遊ぶことができた。	お子さんは、進んで外遊びなどをして体を動かしている。	休み時間の外遊びを奨励したりしながら、体を動かす習慣を身に付けさせられた。
		衛生面の習慣	8	学校で遊んだあとや給食の前などに手洗いをしたり、家でも手洗いやうがい、歯磨きをきちんとしたりすることができた。	お子さんは、外遊びの後や食事の前の手洗いやうがい、朝と夜の歯磨きを、きちんと行っている。	外から戻った後や給食の前などに手洗いや、家での歯磨き等を奨励し、衛生面の意識を向上させ習慣化することができた。
		健康面の習慣	9	テレビやゲーム、スマホなどのルールをきちんと守ることができた。	お子さんは、テレビやゲーム、スマホなどのルールをきちんと守っている。	テレビやゲーム、スマホなどのルールを守るよう適宜声掛けし、生活改善を促すことができた。
防災教育	安全・防災教育の充実	10	けがをしたり地震が起こったり不審者に遭ったりしても、自分で考えて行動することができる。	お子さんと、不測の事態(けが、地震、不審者等)に遭っても、自分で考えて行動することができるよう話し合っている。	防災教育副読本を用いて指導し、不測の事態(けが、地震、不審者等)に遭っても、自分で考えて行動する態度を育てた。	
学校環境作り	保護者と地域との連携	11	<保護者への協働型学校評価に基づく質問> お子さんの「認めてあげたい姿」と、今後、大事にさせていきたい「我が家の重点目標」を、以下の3つの中から1つずつお選びください。また、具体例もお考えいただき、番号や内容をご記入いただければと思います。 (A) 挨拶や礼儀について(具体例:①家での挨拶、②出かけ先での挨拶、③自発的な挨拶、④元気のよい挨拶、⑤礼儀正しいお辞儀、⑥その他) (B) 言葉遣いや会話について(具体例:①家族・友達・地域の方などへの言葉の使い分け、②目上の人への丁寧な言葉、③自分の考えをきちんと述べる、④名前を呼ばれたり何かを言われたりしたときの素直な返事、⑤相手の気持ちを考えた言葉がけ、⑥その他) (C) 善行や生活習慣について(具体例:①早寝・早起き・朝ご飯などの健康管理、②身の回りの整理整頓、③家庭学習を進んで行う、④翌日の学習用具等の準備、⑤お手伝い、⑥その他)			保護者の理解を得ながら連携して教育活動を進め、地域に信頼される学校づくりを行うことができた。
特別支援教育の充実	障害に即した指導法の工夫	12				児童の障害やニーズに即し、指導法や教員間の連携を工夫して、特別支援教育の充実を図ることができた。